【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公開番号】特開2016-126439(P2016-126439A)
【公開日】平成28年7月11日(2016.7.11)
【年通号数】公開・登録公報2016-041
【出願番号】特願2014-265325(P2014-265325)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　13/14　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　３５１Ｎ
Ｇ０６Ｆ　13/14　　３３０Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成29年12月11日(2017.12.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ネットワークを介してクライアント装置に接続されているとともに複数または単一のデバイスがローカル接続されたデバイス制御装置であって、
前記デバイスの状態変化を検知するための検知情報と、前記状態変化の検知結果に応じた処理を実施するためのトリガ処理条件とを記憶する検知情報記憶手段と、
前記検知情報に基づいて前記状態変化を検知するデバイス監視手段と、
前記デバイス監視手段によって検知された前記状態変化を前記トリガ処理条件と照合し、当該照合結果に基づいた所定の処理を実行するトリガ処理手段と、
を備えることを特徴とするデバイス制御装置。
【請求項２】
前記トリガ処理手段における前記所定の処理は、前記クライアント装置に対する処理要求の送信制御を行うトリガ通知送信処理であることを特徴とする請求項１に記載のデバイス制御装置。
【請求項３】
前記トリガ処理手段における前記所定の処理は、前記デバイス監視手段による前記デバイスの監視の開始または停止を実施させる制御処理であることを特徴とする請求項１に記載のデバイス制御装置。
【請求項４】
前記トリガ処理手段における前記トリガ通知送信処理は、前記デバイスが複数台ローカル接続されている場合、当該複数台の前記デバイスにおける複数の前記状態変化の全部または一部の組み合わせに応じ、前記クライアント装置に対する前記処理要求を決定することを特徴とする請求項２に記載のデバイス制御装置。
【請求項５】
前記トリガ処理手段における前記トリガ通知送信処理は、同一台の前記デバイスにおける前記状態変化の組み合わせに応じ、前記クライアント装置に対する前記処理要求を決定することを特徴とする請求項２に記載のデバイス制御装置。
【請求項６】

複数または単一のデバイスがローカル接続されるべきデバイス制御装置にネットワークを介して接続されているクライアント装置であって、
前記デバイス制御装置にローカル接続されたデバイスのデバイス情報と、前記デバイスの状態変化の検知結果に応じた処理を実施するためのトリガ処理条件を記憶する記憶手段と、
前記状態変化を検知した前記デバイス制御装置から当該状態変化の検知を示すトリガ通知を受信するトリガ通知受信手段と、
前記トリガ通知受信手段によって受信した複数のトリガ通知の組み合わせを、前記トリガ処理条件と照合し、当該照合結果に基づいた処理を実行するトリガ処理手段と、
を備えることを特徴とするクライアント装置。
【請求項７】
ネットワークを介してクライアント装置に接続されているとともに複数または単一のデバイスがローカル接続されたデバイス制御装置によって実行されるデバイス制御方法であって、
検知情報取得手段が前記デバイスの状態変化を検知するための検知情報と、前記状態変化の検知結果に応じた処理を実施するためのトリガ処理条件とを記憶する検知情報記憶ステップと、
デバイス監視手段が前記検知情報に基づいて前記状態変化を検知するデバイス監視ステップと、
トリガ処理手段が前記デバイス監視ステップによって検知された前記状態変化を前記トリガ処理条件と照合し、当該照合結果に基づいた所定の処理を実行するトリガ処理ステップと、
を備えることを特徴とするデバイス制御方法。
【請求項８】
複数または単一のデバイスがローカル接続されるべきデバイス制御装置にネットワークを介して接続されているクライアント装置によって実行されるデバイス制御方法であって、
記憶手段が前記デバイス制御装置にローカル接続されたデバイスのデバイス情報と、前記デバイスの状態変化の検知結果に応じた処理を実施するためのトリガ処理条件を記憶する記憶ステップと、
トリガ通知受信手段が前記状態変化を検知した前記デバイス制御装置から当該状態変化の検知を示すトリガ通知を受信するトリガ通知受信ステップと、
トリガ処理手段が前記トリガ通知受信ステップで受信した複数のトリガ通知の組み合わせを、前記トリガ処理条件と照合し、当該照合結果に基づいた処理を実行するトリガ処理ステップと、
を備えることを特徴とするデバイス制御方法。
【請求項９】
請求項１乃至請求項６の何れか１項に記載の各手段をコンピュータに機能させるためのプログラム。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記の課題を解決するために、請求項１に記載のデバイス制御装置は、ネットワークを介してクライアント装置に接続されているとともに複数または単一のデバイスがローカル接続されたデバイス制御装置であって、前記デバイスの状態変化を検知するための検知情報と、前記状態変化の検知結果に応じた処理を実施するためのトリガ処理条件とを取得する

検知情報取得手段と、前記検知情報に基づいて前記状態変化を検知するデバイス監視手段と、前記デバイス監視手段によって検知された前記状態変化を前記トリガ処理条件と照合し、当該照合結果に基づいた所定の処理を実行するトリガ処理手段と、を備えることを特徴とする。